

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152
メール info@takaoka-hongwanji.jp

★門徒宗会議員補欠選挙結果報告

去る十月十五日（火）午後四時、西本願寺高岡会館
礼拝堂において、臨時教区会が開催され、門徒宗議
員補欠選挙が行われました。

選挙人は、九月二十日に立候補の多田慎一さん（関
野組長楽寺門徒）おひとりであったため、教区会の議
決において、投票を省略し、当選人を多田慎一さんと
決定いたしました。



☆僧侶宗会議員公文名眞氏総局入局

去る十一月一日（金）、宗派において、総務・副総務
の就任があり、高岡教区選出の僧侶宗会議員公文名
眞氏が副総務に就任されました。また、併せて子ども
若者ご縁づくり推進室長にも就任されました。

◆さくら保育園園児記念参拝

十一月七
日（木）さく
ら保育園に
おいて、報恩
講が勤修さ
れ、年長の園
児二十一名
が、西本願寺
高岡会館の
礼拝堂の御
本尊に記念
参拝されま
した。



令和元年度

教区賦課金(後期分)納入 について

5月当初にお知らせ致しまし
た告知書の通り、今年度の教区
賦課金(後期分)の納入期限は1
2月23日(月)迄となっています。

できるだけ早期の納入をお願
い致します。

★「令和元年八月の前線に伴う大雨「災害義援金」及び
台風第十九号被害に対する義援金について

現在、各ご寺院にご依頼しております標記義援金につきましては、六十三ヶ寺さまより、五十一万四千四百九十九円（振込手数料を除く）の義援金を頂戴しております。ありがとうございます。引き続き、十一月末までご協力をよろしくお願い申し上げます。

最終的に、義援金の送付先及び金額については、義援金募集期間終了後、教区災害対策委員会を開催し決定する予定です。

また、お寄せいただいた義援金総額及び送付先、金額については、教区報にてご報告させていただきます。

『ほとけのこどものつどい』 開催のご案内

本年度の「ほとけのこどものつどい」を次の通り計画しています。どなたでもご参加いただけます。詳細は12月の教区報で。

記

期 日：12月21日（土）

午前10時～午後3時頃

（昼食あり）

会 場：西本願寺高岡会館

内 容：ゲームほか（予定）

以 上

高岡会館報恩講お初夜「親鸞聖人を語る夕べ」

期 日 11月25日（月）午後7時～9時

※午後6時より「うどん」のお齋があります

内 容 第1部 音楽法要（宗祖讃仰作法）午後7時～

第2部 ご講演 午後7時45分～

テーマ 親鸞聖人はどのような社会を願われたのか
一私が救われるということ

ご講師 吉井教潤師（新湊組西照寺住職）

（詳しくは同封のチラシをご覧ください。）

西本願寺高岡会館 報恩講法要のご案内

○下記の通り高岡会館の報恩講を勤めます。お誘いあわせてお参りください。

日 時：11月26日（火） 日中—午前10時・逮夜—午後1時半

布 教：岡西法英師（五位組教願寺前住職）

講 題：『 本 願 の 名 号 』

※お昼にお齋（お弁当）を準備しております。午前・午後あわせてお参りください。

御同朋の社会をめざす運動のコーナー

第二〇回平和を願うつどい報告

「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」の前日の九月十七日、教区主催の「平和を願うつどい」が築地本願寺第二伝道会館（蓮華殿）にて開催されました。今年は、二十二教区・宗務特区より協賛をいただきました。

二十回の節目を迎えた今回、島蘭進さん（宗教学者・上智大学特任教授）をお招きし、「日本のナシヨナリズムと宗教／今も生き続ける国家神道」というテーマのもと、「神聖天皇と代替わり」という演題でこの講演をいただきました。

今年の「非戦・平和公開学習会」で昨夏、「全戦没者を悼み平和を願うつどい」にお越しいただいた中島岳志さん（東京工業大学教授）と、島蘭さんとの対談書『愛国と信仰の構造／全体主義はよみがえるのか』をテキストとして選び、学びを重ねてきました。特に今年は、新天皇の即位という年とも重なり、国家神道の復活をまろむむ政治的、宗教的な動向が注目される中で、その本質的な問題性と念仏者としてのスタンスを示唆していただいた貴重なつどいとなりました。

内容に関して、宗教関係三紙（『文化時報』『中外日報』『仏教タイムス』）がこのつどいの内容について高い関心を持つて的確に取り上げてくださいましたので、記事を紹介いたします。

「国家神道は本当に解体されたのかを考える必要がある」と問題提起し、一九八九年の皇位継承時には、神道儀礼をテレビで放送することへの議論があったことなどを振り返り、現状と比較。「靖国神社は戦死者の上に天皇陛下を尊んでいる。「天皇の神格化」は人のいのちを軽くしてしまう」と指摘した。また、教育勅語や軍人勅諭を用いて天皇崇拜を国家の中心へ据えたことの検証を促し、「宗教は自分自身に立ち返り、冷静な判断を下すことができる。なぜ私の両親たちはお国のために死ぬべきと思うようになったのか。多くの兵士が精神主義で戦って餓死した。しっかりと理解して、今の世の中で起こっていることを変えていく必要がある」と呼び掛けていた。『文化時報』より

明治期から太平洋戦争に至るまでの「平和を壊した過去」「天皇を神のように崇敬する」思想は密接に関連しており、「戦後、それを反省したはずが不徹底で曖昧になった」と語り、明治以降の近代皇室祭祀の歴史を概観。戦後、天皇の神格は否定され、「神道指令」で国家神道は解体したが、大嘗祭など代替わり儀礼の内容に見るように、明治維新以後に創出され、国体論とも結び付いていた皇室祭祀は継承され、廃止・縮小には向かわなかったと指摘した。また神社本庁は一貫して国体護持・国家神道復興を目指してきたとし、「国家神道が戦後も残り、その支配力を強めようという動きが常にあるとの認識を持つ必要がある。特に安倍政権になって戦前回帰の動きが強まっている」と警告した。『中外日報』より

敗戦により消えたはずの国家神道は「戦後も生きていく」と強調し、一九九〇年の大嘗祭を中心とする即位儀礼がいかに大掛かりに行われたかを説明。さらに近代皇室祭祀については一八六九年の明治天皇の伊勢神宮親謁を例示し、「歴史上、天皇が伊勢に行ったのは七世紀の持統天皇以来」であり、事実上、伝統の継承とは言い難いまったく新しいことであるとした。教育勅語についても、「皇祖祖宗」「天壤無窮」といった語が含まれていることから「その形その形そのものが宗教的な聖典。道徳的に悪くないことが書いてあるかもしれないが、枠組み自体が国家神道そのもの」とし、国家神道の成立には神社だけでなく学校も重要な役割を果たしていたと説明。このように作られた、天皇を神とする国家神道は敗戦と、昭和天皇の人間宣言によって解体されたが、神社本庁は一九八〇年制定の「神社本庁憲章」で「大御代の弥栄を祈念」「神宮を本宗と仰ぎ」と明記し、明治以前には特になかった国家神道的なものを中核にしていると指摘。上皇夫妻は皇室祭祀よりも平和のための祈り、被災地のための祈りを重視していたが、神社本庁はそれらよりも皇室祭祀の継承に重点を置いているのではないかと分析した。『仏教タイムス』より

意見交換の場では、念仏の教えにもとづいて神棚を降ろされた門徒推進員の方の神道と地元との付き合いに関する苦悩の言葉や、もやもやしていた国家神道の問題性が明らかになったなどの意見が聞かれ、僧侶よりも普段から真宗の教えと神棚や神社との関係のなかで具体的な問題意識を持つている方に特に響いたつどいとなりました。今後とも千鳥ヶ淵法要の意義と国家神道の問題を見つめていきたいと思えます。

【ヤスクニ専門委員会委員長 飛鳥寛静】

◇これからの日程（11/14～12/23）◇

11月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座 将来構想委員会	
19		少年連盟役員会
20		門徒推進員世話役会 福光教堂報恩講（～21）
21	親鸞聖人を語る夕べ音 楽法要練習	
25	親鸞聖人を語る夕べ	
26	会館報恩講	
29		子ども若者連絡協議会
30		中仏同窓生50周年記念大会（富山）
12月		
2		仏婦常任委員会
4		寺院女性会研修会
9		講社連盟もち米進納 （～10）
14	常例法座	寺族青年会実践運動研修会
21		ほとけのこどものつどい
23	組長会	

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋） 8,300円

・1組（10袋） 500円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel.(050)5587-7708(代表)

メール hourin18@gmail.com

宗派宗務所における

事務終了日及び事務開始日について

事務終了日：12月26日（木）11:00迄

事務開始日：1月7日（火）

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎11/16（土）：楠 正照氏

（浄土真宗本願寺派布教使・京都府浄光寺副住職）

「おやさま」という味わい

◎11/23（土）：楠 正照氏

（浄土真宗本願寺派布教使・京都府浄光寺副住職）

「保育の中で重要なこと」

□11/24（日）：未 定

（富山教区）

◎11/30（土）：楠 正照氏

（浄土真宗本願寺派布教使・京都府浄光寺副住職）

「みんなで雅楽を吹いてみたい」

◎12/7（土）：楠 正照氏

（浄土真宗本願寺派布教使・京都府浄光寺副住職）

「残していきたい文化」

□12/8（日）：鷲森 昭見氏

（高岡教区氷見西組浄善寺）

◎12/15（土）：山上 正尊氏

（本願寺派布教使・大阪府旭照寺住職）

「未 定」

【西本願寺高岡会館12月の常例法座】

ご講師：岡 西 有 可 氏

（五位組教願寺）

ご講題：『阿弥陀様のおこころ』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。